

- ☆特定(産業別)最低賃金
- ☆連合関東ブロック海外交流視察in台湾/メンタルヘルスセミナー(基礎編)
- ☆地協ブロック連絡会、市長・町長政策懇談会
- ☆2025年度組合役員教育プログラム「全行程修了」
／組合役員教育プログラム「修了証書」授与式
- ☆親子ものづくり教室/ものづくり大学連合連携寄附講座
- ☆九都県市要請行動/再配達削減推進に向けた駅頭街宣活動
- ☆11月の行動予定/中央労働金庫お知らせ
- ☆あけぼのビル

令和7年度 埼玉県特定(産業別)最低賃金の改正決定について

埼玉地方最低賃金審議会は、本年8月8日に埼玉労働局長から「特定最低賃金の改正決定について」の諮問を受け、5業種の特定最低賃金専門部会を設置し、調査・審議をおこなってきました。当該産業の活性化や公正競争の確保を観点に特定最低賃金の引き上げ額について、公労使で慎重かつ真摯な議論をおこないました。結果、埼玉労働局長に対し、以下に示す改正額を答申しました。今後諸手続きを進め、本年12月1日より効力が発生することとなります。

今年の特定(産業別)最低賃金は、5業種すべてで、

過去最大の引き上げ額となりました。

しかし、企業内最低賃金との金額差も縮まっており、この状況が続いてしまうと地域別最低賃金に特定(産業別)最低賃金が下回ることが予想され、当該産業の活性化や魅力低下、産業内の公正競争を確保ができず、産業の衰退につながってしまいます。構成組織・加盟組合の皆様には、これから始まる2026春季生活闘争の中で企業内最低賃金の水準の引き上げに取り組んでいただきますようお願いいたします。

簡易計算サイト

「チェック!あなたの賃金は、大丈夫?」～最低賃金をクリアしてる?～

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/action/saiteichingin/>

令和7年度特定(産業別)最低賃金

産業別	時間額(円)	引上額	引上率	発効日
非鉄金属製造業	1,161円	63円	5.74%	2025年 12月1日～
電子部品・デバイス・電子回路、 電気機械器具、 情報通信機械器具製造業	1,168円	63円	5.70%	
輸送用機械器具製造業	1,165円	63円	5.72%	
光学機械器具・レンズ、 時計・同部品製造業	1,177円	63円	5.66%	
自動車小売業	1,152円	63円	5.79%	

(参考:既報) 埼玉県地域別最低賃金

時間額(円)	引上額	引上率	発効日
1,141円	63円	5.84%	2025年11月1日～

連合関東ブロック海外交流視察 in 台湾

2025年9月22日(月)～25日(木)

連合関東ブロック連絡会では、欧州やアジア、オセアニアなど、各国の労働組合との交流をつうじて相互理解の促進と先進的な活動を学習することを目的に、毎年視察団を派遣しています。

2025年度「第30回海外視察団」は、9月22日(月)～25日(木)にかけて台湾の視察をおこないました。連合埼玉からは前原副会長と山下副事務局長が参加しました。

2日目の『新竹サイエンスパーク探索館』では、台湾での半導体、医療技術の動向などの説明をうけながら見学をしました。その後、台湾のフードバンク「1919食物銀行」を訪問し、倉庫内の見学、台湾のフードバンクの状況をご説明いただきました。スケールの大きさに大変驚きました。

3日目は、台湾総工会を訪問しました。

「台湾総工会」は、前身の「台湾省総工会」(1948年

設立)から、77年の歴史を持ちます。連合東京と交流の深い組織であるなどのプレゼンテーションを受け、意見交換をおこないました。

今回参加させていただき、4日間で多くの学びがあり、実りある視察となりました。

【日程】

- 9月22日 台北・松山空港へ到着
- 9月23日 「新竹サイエンスパーク探索館」見学
新竹サイエンスパーク周辺車窓見学
「1919食物銀行(フードバンク)」訪問
- 9月24日 台北⇒台中へ移動(台湾高鐵乗車)
台湾総工会(中華民国全国総工会)
訪問・意見交換・夕食懇親会
- 9月25日 台北市内視察
「中山紀念堂」、「忠烈祠」ほか
帰国



新竹サイエンスパーク
探索館にて



TSMC前にて



1919食物銀行
(フードバンク)にて



フードバンク見学風景



台湾総工会前にて

メンタルヘルス研修会(基礎編) 開催

ストレスと上手につき合い日々を心豊かに暮らす
～心のセルフマネジメントと職場の相互支援～

2025年度メンタルヘルス研修として、6月のメンタルヘルス研修会(応用編)に続き、9月25日(木)、あけぼのビルにてメンタルヘルス研修会(基礎編)を、19名の組合役員並びに会社担当者との参加のもと開催しました。

冒頭、連合埼玉を代表し、労働政策委員会委員長の迫副会長職務代行より、職場におけるメンタルヘルス対策の重要性や取り組みの必要性について挨拶がありました。

研修は、日本カウンセラー協会 公認心理士、シニア産業カウンセラーの綾部 和幸 氏より、ストレスと上手につき合い日々を心豊かに暮らすための「心のセルフマネジメントと職場の相互支援」をテーマに、前半は、働く人のメンタルヘルスと職場のコミュニケーションについての講義を、後半では前半の講義を踏まえたロールプレイングをおこないました。

今回は、支え合う人間関係づくりの中で、建設的なコミュニケーション、否定しないコミュニケーション、聴く力の重要性や効果的な聴き方のワークから、心の健

康を守る基本のセルフマネジメントを学び、傾聴の心構えを習得する講義でした。

参加者からは、理想と現実、自分の感情コントロールの大切さへの学びを得た事や、職場や組合での面談にいかしていき、コミュニケーション手法を職場や組合に伝達していくなど、様々な知識の深化を得たと好評でした。

連合では、すべての働く人が安心して働ける職場環境構築をめざしております。労働政策委員会では、雇用環境や働き方の変化による「心の病」に向けメンタルヘルス対策への取り組みを継続しておこなっていきます。皆様のご参加をお待ちしております。



迫副会長職務代行



綾部講師

「地協ブロック連絡会」を開催

～次年度の運動に向けて～

10月14日(火)の東部ブロックを皮切りに、15日(水)に南部ブロック、24日(金)に北部ブロックにおいて、「地協ブロック連絡会」ならびに「市長・町長政策懇談会」を開催しました。

西部ブロックについては、28日(火)に「地協ブロック連絡会」のみの開催となりました。

連合埼玉から平尾会長をはじめ、各地協ブロック担当の副会長・執行委員が参加し、各地域協議会からは地協四役の方の参加がありました。

冒頭、平尾会長から、政策制度の取り組み、自然災害の状況について、参議院選挙についての挨拶がありました。

そして協議事項では、

- ①2025年度活動経過報告
- ②2026～2027年度運動方針(案)について
- ③2025年度政策・制度要求(地協統一)について
- ④「第27回参議院議員選挙」総括(案)について
- ⑤地協活動について
- ⑥地域事務所の取り組みについて

に関して、質疑や意見交換が活発におこなわれ、その後、各地域協議会より地協の活動報告や政策要請の取り組みについて報告がありました。

今後も引き続き、地域協議会と連携を深めながら進めていきたいと思います。



東部地協ブロック連絡会の様子



南部地協ブロック連絡会の様子



北部地協ブロック連絡会にて挨拶する相羽副会長職務代行



西部地協ブロック連絡会の様子

「市長・町長政策懇談会」を開催

～政策・制度要請内容の実現に向けて～

「市長・町長政策懇談会」では、地協エリアに該当する市・町の推薦・友好首長(総勢12名)および推薦議員(総勢28名)が参加のもと、活発な意見交換がおこなわれました。

連合埼玉 平尾会長の挨拶の後に、8分野34項目にわたる「2025年度連合埼玉 政策・制度要請(地協統一)」について説明をおこない、要請内容の実現に向けて協力を求めました。

その後、「地方行政に関する課題について」と題して、当日出席いただいた市・町の推薦・友好首長(代理を含む)から各自治体における課題などについて報告がされました。

具体的には、「高齢化・地域コミュニティ維持について」「公共交通機関の再構築について」「行政の人材確保難・働き方改革について」「子育て支援について」など、多岐にわたる取り組みと課題について報告がありました。

また、市・町の推薦・友好首長(代理を含む)から、連合埼玉の政策制度に対しての質問や自治体としての取り組みについての話がありました。

連合埼玉は、今後も推薦・友好首長や推薦議員などと連携をはかり、働く者・生活者の立場に立った政策の実現に向けて取り組みを進めます。来年度以降も、皆様からの意見をよろしくお願いいたします。



東部ブロック政策懇談会の様子



南部ブロック政策懇談会の様子



北部ブロック政策懇談会にて挨拶する齋木副会長職務代行



北部ブロック政策懇談会の様子

2025年度組合役員教育プログラム「全行程修了」

9月24日(水)あけぼのビル501会議室において、組合役員教育プログラムのスキルアップ講座「⑩イベント企画の立て方とその運営」が実施され、2025年度の全講座が終了しました。

2025年度の組合役員教育プログラムは2025年1月18日(土)開催の実務講座を皮切りに、平日と土曜日開催で合計20回開催しました。全講座の受講者数は右表のとおりとなっています。

受講者は、基礎講座で118名、実務講座で83名、スキルアップ講座で63名となり全体で264名となりました。

今年度の参加状況から組合役員教育プログラム運営委員会では、参加者の減少を課題と捉え、今後より参加いただける講座になるよう検討をしていきます。

2025年度 組合役員教育プログラム各講座受講者数

講座	講座内容	受講者数
実務講座	⑨ 三六協定の実務(時間外労働と休日労働)	28名
	⑩ 団体交渉・労使協議の進め方	8名
	⑪ 労働組合が取るべき経営対策活動とは?	17名
	⑫ メンタルヘルスと職場での取り組み方	8名
	⑬ キャリア開発(より良い働き方を考える)	16名
基礎講座	⑭ ミッション・ビジョンの重要性(過去から未来へ)	6名
	① 労働組合の意義と機能	16名
	② 組合役員の立場と役割	16名
	③ 組合役員のためのコミュニケーション力開発①(リスニング)	14名
	④ 会議の進め方①(職場討議・集会の進め方)	14名
	⑤ これだけは知っておきたい労働法(労働法初級)	22名
	⑥ 健全な労使関係と働き方ルール(労働法中級)	22名
	⑦ 労働組合の社会的役割～労働運動の起源	7名
スキルアップ講座	⑧ 埼玉県の労働福祉運動の役割	7名
	⑮ プレゼンテーション(納得性を高める伝え方)	9名
	⑯ 組合広報誌の作りかた	12名
	⑰ 組合役員のためのコミュニケーション力開発②(アサーション)	10名
	⑱ 組合役員のためのコミュニケーション力開発③(コーチング)	11名
	⑲ 会議の進め方②(ユニオンファシリテーション)	10名
	⑳ イベント企画の立て方とその運営	11名

2025「組合役員教育プログラム」修了証書授与式

組織を担う次のリーダーを育成

10月22日(水)あけぼのビル501会議室において、組合役員教育プログラムの2025年度の修了証書授与式を開催しました。本年度は基礎講座7名、実務講座3名とスキルアップ講座2名が各講座における全プログラムを終了しました。当日は、基礎講座から岡安和也さん、佐藤悠太さん(UAゼンセン:ハイデイ日高労働組合)、実務講座から西尾政浩さん、岡安和也さん(UAゼンセン:ハイデイ日高労働組合)、中里晋さん(自治労:さいたま市職員労働組合)、スキルアップ講座から西尾政浩さん(UAゼンセン:ハイデイ日高労働組合)が修了証書授与式に参加しました。また、J.union株式会社北関東活動促進部高崎支店の栗本利幸氏も参加し、2025年度の活動を振り返る場になりました。

組合役員教育プログラム運営委員会の前原委員長から主催者代表挨拶の後、連合埼玉の平尾会長から、自身の実体験をベースにした「修了証書授与にあたって」と題した講話がありました。講話は労働組合での役員経歴の紹介から始まり、「組合役員で苦労したこ

と(業績悪化時の構造改革時の組合員とのやりとりなど)や地域とのつながりを大切に思い活動している」と参加者に語りながら対話形式で参加者の意見も聞きながら進めました。その後、修了証書授与者から、「産別の枠を超えたつながりがつくれて大変良い機会でした」などの挨拶がされました。

組合役員教育プログラムは、2012年より自前では教育ができない組合のために基礎講座からスタートし、実務講座、スキルアップ講座が追加され、多くの方が受講・修了されています。

これまで未参加の組織は、次のリーダー育成やスキルアップのためにも参加をご検討いただきたいと思います。



主催者代表あいさつ 前原委員長



西尾政浩氏



岡安和也氏



佐藤悠太氏



中里 晋氏



修了証書授与者を囲んで

JCM(金属労協)親子ものづくり教室開催

～学校法人ものづくり大学 碧蓮祭に出展～

10月25日(土)に埼玉県行田市にある「学校法人ものづくり大学」にご協力いただき、「碧蓮祭」へ「親子ものづくり教室」のブースを出展させていただきました。

JCM(金属労協)親子ものづくり教室は、日本のものづくり産業の将来の発展に向けて、ものづくり産業の意義・魅力の再認識を目的に開催し、組合員ならびに組合員のご家族、特に将来の日本を担う子どもたちに、「ものづくり」を体験してもらい、日本の「ものづくり」の大切さ、楽しさを再認識してもらうために開催しています。

当日は、構成組織、一般参加者も含め、241名のご参加をいただき、電池とモーター、木材、段ボールを材料とした、走るスポーツカーやバイクを製作し、ものづくりの楽しさを体験していただきました。

参加者からは、「作るのが楽しかった」「作るのが難しかった」などの声をいただき、「ものづくり」の大切さ、楽しさを再認識していただきました。

今後も、JCM(金属労協)は日本のものづくり産業の将来の発展に向けて取り組みをおこなっていきます。



金属部門連絡会
今井部会長あいさつ



竹内副部会長



迫副部会長



会場の様子

ものづくり大学にて連合連携寄附講座を開催!

～働く上で知っておくべき知識とは～

連合埼玉では、9月29日(月)および10月6日(月)の両日に、ものづくり大学 建設学科の学生(120名程度)を対象とした連携寄附講座を実施しました。

当日は、「労働組合の役割や意義」「働く立場でのワークルールの重要性」「建築産業における現場の実態」「労働者福祉運動の取り組み」などについて、講義をおこないました。

参加した学生からは、「講義をつうじて、働くことについて考えるきっかけとなった」「自分が働いているバイト先での労働条件と比較ができた」などの意見をいただきました。

10月31日(金)には、ものづくり大学 情報メカトロニクス学科の学生を対象とした創造プロジェクトを開催しました。これから就職を迎える学生に対して、一人でも多くの方が私たちの仲間に加わっていただけるよう、思いを伝えてまいります。



講義をおこなう
連合埼玉会長 平尾氏



講義をおこなう建設埼玉
中央執行委員長 宮前氏

【連合埼玉連携寄附講座】

<建設学科/応用ゼミ>

●日時 2025年9月29日(月)9:00～

●内容 ①講義1
テーマ:働くことを軸とする安心社会の実現に向けて

講師:平尾 幹雄氏(連合埼玉会長)

②講義2

テーマ:知っておきたいワークルールの基礎知識

講師:大谷 誠一氏(連合埼玉事務局長)

●日時 2025年10月6日(月)9:00～

●内容 ①講義1
テーマ:建築産業における現場の実態と労働組合の役割

講師:宮前 守氏
(建設埼玉中央執行委員長)
大島 学氏
(建設埼玉書記長)

②講義2

テーマ:すべての働く者のための取り組み
講師:佐藤 道明氏(埼玉労協専務理事)

九都県市首脳会議に対して、要請書を提出！

～働く者の立場に立った政策・制度要請内容の実現に向けて～



九都県市首脳会議座長への要請書提出



要請内容を説明する小林副事務局長



要請書

連合東京・神奈川・千葉・埼玉は、10月17日(金)16時から横浜市役所において、「第87回九都県市首脳会議」の座長である山中竹春 横浜市長に対して、8分野20項目にわたる「九都県市首脳会議に対する要請書」を提出しました。

要請書の内容は、「雇用・労働政策」「生活・福祉政策」「防災政策」「インフラ対策」「防犯・消費者被害対策」「環境・エネルギー政策」「教育・子育て政策」「ジェンダー平等・多様性推進政策」となっております。最後に、山中横浜市長(座長)からは、「九都県市首脳会議の議長として共通認識をはかり、対応していきたい」とのコメントが述べられました。

九都県市首脳会議とは！

<構成員>

埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県、
横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市の市長

<会議の目的>

九都県市の知事および市長が、共有する膨大な地域活力を活かし、共同して広域的課題に積極的に取り組むことを目的とする。

<会議に期待される役割など>

地方分権の進展や広域的課題の複雑化・多様化とともに、自治体間の連携・協調した取り組みのシステムとして、また自治体間の調整のシステムとして、九都県市首脳会議の役割はますます重要になっている。九都県市は、そのような役割を果たしつつ、今後とも首都圏における広域的な諸課題の解決に向けて、協調した取り組みを進めるとともに、まちづくり等において共同・連携した対応をはかるなど、協調して広域行政を推進。

再配達削減推進に向けた 「宅配を1回で受け取ろう！」駅頭街宣活動を実施

10月1日(水)18時より久喜駅西口において、10月28日(火)17時より川越駅東口デッキ上において、再配達削減推進に向けた「宅配を1回で受け取ろう！街頭宣伝行動」をおこないました。

当日は、東部・西部の地域協議会代表者より、埼玉県の物流の現状など含めた主催者挨拶をおこない、その後、「物流業界を取り巻く状況」について、物流業界の構成組織組合員から県民へ訴え、最後に「再配達削減推進に向けた宣言文アピール」を読み上げ、各駅頭での街宣活動を終了しました。

私どもは、物流は県民生活を支える重要な社会インフラであり、持続可能な物流体制を構築していくことは、物流業界だけの課題にとどまらず、県内経済や県民生活に直結する重要な課題であり、その解決のためには物流事業者だけでなく、荷主や消費者、関係団体などが連携し、商慣行の見直しや物流業務の効率化、

荷主と消費者の行動変容に向けて、社会全体で取り組んでいく必要があると考えています。

今年度は、年間をつうじて以下の取り組みをおこなってきました。

<統一した取り組み>

- ①設定した宅配時間における在宅の徹底の展開
- ②「宅配ロッカー」や「置き配バッグ」などを活用した再配達削減に向けた取り組みの展開
- ③近隣の宅配事業者の営業所での受け取り推進の展開

<連合埼玉・地域協議会としての取り組み>

- ①埼玉県が作成した「再配達削減PRチラシ」を活用した組合員への周知徹底
- ②連合車を活用した県内主要箇所でのPR活動(6回/年)
*再配達削減PRチラシの配布
来年度も、継続した取り組みをおこなってまいりますので、皆様方のご協力をいただきますようお願いいたします。



東部地域協議会
田村議長



久喜駅駅頭の様子



朝霞・東入間地域協議会
安多議長



川越駅駅頭の様子

現在予定される11月の日程表です

11月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	土		
2日	日		
3日	月		
4日	火	第12回四役・執行委員会(10:00～・13:00～/ときわ会館)	埼玉県私鉄「第50回定期大会」(11:00～/東武鉄道労組春日部支部)
5日	水	埼玉労働局との意見交換(15:00～/埼玉労働局)	
6日	木	金属部門連絡会議(15:00～/連合埼玉会議室)	埼玉県「令和7年度第2回人手不足対策分科会」(13:30～/川口高等技術専門学校)
7日	金		①埼玉労福協「第4回理事会」(10:00～/ときわ会館) ②埼玉労福協「教育フォーラム」(13:30～/ときわ会館) ③埼玉県生産性本部「埼玉大学シンポジウム」(14:40～/埼玉大学)
8日	土	連合埼玉とろうきんとの共同女性セミナー(13:30～/中央労金埼玉県本部・WEB併用)	フード連合埼玉地区協議会埼玉地区協議会「第24回代表者総会」(14:30～/東上パールビルディング第1ホール)
9日	日		①連合関東ブロック連絡会「2025第5回幹事会」(15:30～10日/ホテルニューイタヤ) ②連合関東ブロック連絡会「代表者懇談会」(16:30～10日/ホテルニューイタヤ)
10日	月		①連合関東ブロック連絡会「2025第5回幹事会」(「代表者懇談会」)(イーストウッドカントリークラブ) ②埼玉県労働者共済生活協同組合「第2回正副委員長会議」(13:30～/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ③こくみん共済 coop「第2回正副委員長会議」(14:00～/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ④こくみん共済 coop「産別委員会」(15:30～/こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ⑤フードバンク埼玉「2025年度第2回理事会」(15:00～/パルシステム ばる★てらす)
11日	火		
12日	水		①埼玉県地域訓練協議会(10:00～/埼玉職業能力開発センター・ポリテクセンター) ②埼玉県/DX事例を学べる交流会(13:00～/春日部高等技術専門学校) ③連合「第1回地方連合会事務局長会議」(13:30～/全電通労働会館) ④連合関東ブロック「第5回幹事会」(16:00～/連合本部)
13日	木		①こくみん共済 coop「新任役員研修会」(12:30～14日/エテルナ高崎) ②こくみん共済 coop「第447回理事会」(15:00～14日/エテルナ高崎) ③こくみん共済 coop「第3回代表委員会」(15:30～14日/エテルナ高崎) ④本庄・児玉郡地域協議会幹事会(18:30～/はにぼんプラザ)
14日	金		
15日	土		
16日	日		県央地協「9回幹事会」(16～17日/ホテル木暮)
17日	月	青年委員会「第12回幹事会」(18:00～/あけぼのビル)	
18日	火		基幹労連埼玉県本部「第23回定期中間大会」(15:00～/キングアンバサダーホテル熊谷)
19日	水	第19回定期大会(10:00～/ロイヤルパインズホテル浦和)	
20日	木		こくみん共済 coop 産別労組等推進会議(10:00～/こくみん共済 coop 埼玉推進本部)
21日	金	女性委員会「定期総会」/「セミナー」(14:00/あけぼのビル)	令和7年度第1回女性デジタル人材育成部会(10:00～/VWeb)
22日	土		①ユニオン連合埼玉「第24回定期大会」(15:30～/あけぼのビル) ②ユニオン連合埼玉「躍進パーティ」(17:30～/さいたま共済会館)
23日	日		上尾市長選挙 告示日
24日	月		
25日	火		埼玉県交通労協「第33回定期総会」(14:00～/JACK大宮宇宙劇場)
26日	水		①ときわ会館「第3回理事会」(10:00～/ときわ会館) ②令和7年度第1回地方労働審議会(14:45～/ホテルプリランテ武蔵野) ③中央労理事会(15:30～/ろうきん本部) ④比企地域協議会「第6回幹事会」(18:00～/ボッシュ労働組合)
27日	木		①連合「第1回地方連合会代表者会議」(14:00～/連合会館) ②埼玉県労働委員会「定例総会」(16:00～/埼玉県庁) ③公益社団法人教育文化協会 設立30周年「感謝の集い」(17:30～/東京ガーデンパレス) ④2025年度埼玉県生産性本部「視察」(27～28日/岩手県)
28日	金	埼玉シニア連合「第29回定期総会」(14:00～/あけぼのビル)	連合「第96回中央委員会」(10:00～/浦安ブライTONホテル)
29日	土		新産別連合者労働組合埼玉地区本部「設立50周年記念式典」(18:00～/ロイヤルパインズホテル浦和)
30日	日		上尾市長選挙 投票日

中央ろうきん

家計見直し
借換
キャンペーン
2025.4.1[火] ▶ 2026.3.31[火]

借換シミュレーション
実施でもれなく

**500円分のQUOカード
プレゼント!**

対象条件 有担保ローン・無担保ローン(マイプランを含む)の
借換シミュレーションを実施された方

ろうきんイメージモデル
森川 葵

【留意事項】※ホームページ上での借換シミュレーションはキャンペーン対象外となります。※キャンペーン期間中、初めての借換シミュレーションのみを対象とさせていただきます。※QUOカードは一人様500円分までとなります。※中央ろうきん以外の金融機関からお借入れされているローンが対象となります。※その他のキャンペーンとの併用はできない場合がございます。※詳しくは(中央ろうきん)営業店までお問い合わせください。❷

お問い合わせ・ご相談は、<中央ろうきん>埼玉県本部 TEL:048-836-5511❶

2025年10月1日現在❷

「男女平等参画,ジェンダー平等の推進,均等待遇、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」に向けた標語

◇優秀賞 認め合おう あなたらしさが 輝く社会
 (自動車総連埼玉地協 オートテックジャパン労働組合・西館 拓史さん)

※2025年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリーダー宣言」、標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。

— 7 —

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL https://rengo-saitama.jp/



◆大阪・関西万博が閉幕!

2025年4月13日(日)に開幕した大阪・関西万博が、10月13日(月)をもって閉幕しました。

今次万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、184日間にわたる会期中、日本と158カ国・地域、7つの国際機関が参加し、独自の文化や未来を先取りした最先端技術が披露されました。また、この祭典には、一般来場者だけで2,500万人超が人工島・夢洲(大阪市)の会場を訪れました。加えて、運営上も最大で約280億円の黒字見込みという報道もありました。

当初は、開催前の準備遅れ、高コスト構造、来場者の見込みなどを懸念する声がありましたが、終盤には「もっと行きたかった」「終わるのが寂しい」といった来場者の声も多く寄せられ、SNS上でも反響を呼んでいました。

このように逆風を超えて開催された大阪・関西万博は、成功裏に開催されたイベントであったと感じています。

しかし、一部では課題も散見されました。開幕前に指摘された工期遅延、コスト超過、混雑・予約枠の制約などの運営上の混乱も報じられていました。例えば、「1日20万人超の来場が続いたが、予約枠が埋まり、新規入場が難しい状況だった」という報道もありました。

また、閉幕直後には閑散とした会場の様子も報じられ、「祭りの終わり」がリアルに見える場面もありました。

これらは、働く現場・運営体制・地域との連携・来場者の体験という点において、改善の余地を残すものであり、私たちの運動にとっても「大きなイベントが働き手や地域にもたらすインパクト」などを考える上で、重要な学びであったと感じています。

<私ども連合としての立場から見てきた意義について>

ここで、私ども連合としての立場から見てきた意義について触れておきたいと思います。

一つ目には、働き手・ボランティア・運営スタッフとしての経験の蓄積です。会場運営には約2万人がスタッフとして従事していたとの報道もあり、若年層を中心に新たなチャレンジの舞台が提供されていました。

このことは、働き方や職場経験が多様化・流動化する現代において、「異分野への参画」「一時的プロジェクトへの参加」がキャリア上の価値となりうるという側面を示して

おり、「働きがい・参画機会」の議論においても、示唆に富むものと考えています。

二つ目には、地域・地方・全国レベルでの「レガシー(遺産)化」への視点です。

万博終了後も、会場周辺のまちづくり、輸送・インフラ整備、環境技術・産学連携など、未来志向の取り組みが「万博後」の地域創生として語られています。

私ども埼玉県においても、こうした「大きなイベントを契機とした働く場・交流の場・学びの場の創出」に注目すべきであり、私たちも「転換期の働き方」「地域産業との接点づくり」に意欲的に関わっていきたいと考えています。

三つ目には、「国際連帯・多様性・包摂」というテーマの強化です。万博という場において、「世界との対話」「多国籍間の協働」「テクノロジーと人間性の融合」が改めて提示されたことは、まさに連合がめざす社会像「多様な働き手が尊重される社会」「誰一人取り残されることのない包摂的な社会」とリンクしています。

この観点からも、私どもは今回の万博を「ただの展示イベント」としてではなく、働く者の視点からも「未来社会の作り手としての機会」であったと捉えています。

<各国パビリオンのランキング>

(YAHOO!ニュースより)

■満足度が高かったパビリオンTOP3

順位	パビリオン名
1	GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION
2	イタリア・パチカン
3	PASONA NATUREVERSE

選ばれた要因としては、実物大のガンダム像のほか、没入感のある体験を楽しめた「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」や、アジア初上陸の「ファルネーゼのアトラス」など、本物にこだわった展示が話題となり、8時間もの待ち時間が発生した「イタリアパビリオン」、iPS細胞からつくった心筋シートを用いた「動くiPS心臓」を展示した「PASONA NATUREVERSE」がランクインしたと報じられていました。

■訪問難易度が高いパビリオンTOP3

順位	パビリオン名
1	住友館
2	null2
3	イタリア・パチカン

選ばれた要因としては、倍率の高さから事前・当日予約が困難だった「住友館」などがランクインしたと報じられていました。

2025.10.24